

## 袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和5年7月 袋井市教育委員会 定例会
招 集 日 時	令和5年7月28日(火)午後1時30分
会 議 時 間	午後1時30分から午後3時15分まで（1時間45分）
場 所	教育会館 3階 ICT研修室
出 席 者	鈴木一吉 教育長 鈴木万里子 委員 大谷純應 委員 溝口知秀 委員 吉田陽子 委員 (計：5人)
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	石黒克明 教育部長 山本裕祥 教育監 山本 浩 教育企画課長 小鷹義晴 おいしい給食課課長 杉山明子 子ども未来課長 小澤一則 育ちの森所長 神田明治 学校教育課長 伊藤弘祐 学校教育課主幹兼指導係指導主事 中村悟史 魅力ある部活動推進室長 大庭尚文 生涯学習課長 小久江暁子 袋井図書館長 白澤 崇 歴史文化館長 松井健尋 教育企画課主幹兼教育総務係長 (計：13人) (合計：18人)
会議に付した 事 件	別紙「令和5年7月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和5年7月 袋井市教育委員会定例会 日程  
会 議 日 程

- 日程第1 開 会
- 日程第2 会議録署名委員の指名
- 日程第3 会議録の承認
- 日程第4 教育長報告
- 日程第5 教育部月例事業報告
- 日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）報告事項

- 報第93号 『日本一みらいにつながる給食』アクションプラン（案）について
- 報第94号 学校給食費の収納状況について
- 報第95号 令和4年度保育料の収納状況について
- 報第96号 第2期袋井市子ども子育て支援事業計画主要事業の実績報告について
- 報第97号 寄附品・寄附金の受納について
- 報第98号 全国学力・学習状況調査の結果について
- 報第99号 令和5年度 放課後児童クラブ利用待機児童数について
- 報第100号 教員の精神疾患療養について

日程第7 その他

（1）連絡事項

- ア 国の教育振興基本計画（概要）
- イ 初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン
- ウ 「令和の日本型学校教育」を推進する地方教育行政の充実に向けて（概要版）

（2）次回定例会等の予定について

8月教育委員会定例会

8月25日（金） 午後1時30分 子育てセンター にじいろ

（3）その他

日程第8 閉 会

## 1 開会

### ●教育長

## 2 会議録署名委員の指名

### ●教育長

大谷委員 と 溝口委員 を指名

## 3 会議録の承認

### ●教育長

6月の定例会の会議録については、承認

## 4 教育長報告

### ●教育長

資料に基づき、主な内容を報告

## 5 教育部月例事業報告

### ●各課長

資料に基づき、各課長から主な事業を報告

## 6 議事

### 【報告事項】

### ●教育長

報告事項ですが、都合により、議事の順番を入れ替えさせていただきます。報第98号 全国学力・学習状況調査の結果について取り上げたいと思います。この結果は、週明け7月31日に公表されるということなので、この定例会の場でご報告させていただきたいと思っております。それでは、事務局から説明をお願いします。

### 報第98号 全国学力・学習状況調査の結果について

### ●学校教育課長、学校教育課主幹

資料に基づき説明

### ●教育長

平均正答率ですが、たとえば小学校で14問あった場合、14問を100として単純に割り算しているだけなので、問題のウエイトは全くないです。つまり、14問中7問正解すれば50点という評価の仕方ですので、漢字を書いても同じウエイトですし、記述文を読んで書いても同じウエイトなので、そのようなご理解をしていただいた方が良いかと思います。全体的な傾向ですが、公表の仕方として、全国は小数点1位まで出しているのですが、県とか市町村は整数でしか出していないです。よく分かりませんが、国がそのように対応しているので、その結果しかもらえないため、そのような形になります。ですから、さきほど学校

教育課長が言った件ですが、今回非常に良く全国を上回っている一部の学校ですが、全国平均よりも多分7, 8点ぐらい平均点が高いという状況です。何かご質問、ご意見がありましたらお願いします。これで、あまり一喜一憂しないようにと言っていますが、結構一喜一憂してしまうのが現実なのですが、いかがでしょうか。

[質疑・意見(要旨)]

#### ●溝口委員

確かに、袋井型の授業づくりを考えたということは、多分その時も同じような傾向があったんだろうなど、僕らから見ると整理されます。逆に言うと、せっかくやってくれているのに、なかなかその成果が出てきていません。出てきている学校もあります。やはり、僕らから見て面白いのは先生って意外と自分のスタイルを作ろう作ろうって一生懸命やってくれている人がいて、標準的な考え方っていうのはあんまりしないのかなという傾向が見えています。ただ、ここに関しては、袋井型のもっと考えて、自分の考えを表現できるというやり方を、みなさんに具体的に広めてあげるのもいいのかなと思います。さらにここを突き詰めていけばいいのかなというふうに考えております。

#### ●吉田委員

私は一部の学校の授業しか見てないので、局地的な意見になってしまうかも知れないのですが、袋井型の授業で、ハテナから始まるってすごくいいと思うんですけど、それをできる子はスラっとできる。でも、できない子はポカンとしてその時間やり過ごす。で、他の子の意見を聞いて、また次に活かせばいいんですけど、ポカンとしている子は、結局いつまでたってもポカンで過ぎてしまいます。それで、個の振り返りも毎時間ちゃんと課題に対しての振り返りという書く時間はあるものの、結局書ける子は掛ける。書けない子は書けないまま。先生が見本みたいなのを書いて、それを写すのが精一杯っていう状況をよく見てまして、できる子は多分放っておいても今後伸びていくと思うんですけど、できない子、どうにか救い上げていくという仕組みを作ってもらえたらなと思います。

#### ●学校教育課長

ありがとうございます。すごくよく見ていただいて嬉しいなあとと思います。袋井型はあくまでも型なんですね。我々が目指しているのは、その型から入って、要は今指摘あったように、個のまとめが書けない子供が出た場合に、なんで書けないのかな、というところに教職員が目を向けるということです。おそらくその原因としては、学習課題が子供の実態と多分ずれていることが考えられます。すごく難しすぎるとか、子供の関心のないところにあるとか。もしくは課題は適正であっても学習の中身に問題がある場合があります。例えば、話し合いとかがどうも子供たちのニーズに沿っているものじゃないので、深めることができないといったものです。そういった質的なところに、ぜひ目を向けてもらいたいというのが実は本意なんですね。ただ、その質的なところの話だけしても、なかなか取っ掛かりがなくて、授業改善が進まないのが型から行こうということで、今やっています。なので、まず型を示して、クエスチョン型を設定する、そして個のまとめをやるっていうところをやっついていかないことには、質がなかなか改善されないと自分は捉えています。今、委員がおっしゃった学校は、個のまとめもきちんと理解してやっているんですね。次は質だよなっていうところで、ぜひその課題の内容だとか、もしくはその興味のもたせ方とか、または教材の示し方とか、そういったところに目を向けて、ぜひやって欲し

いということ、この間も話したところです。ちょっと辛いのは、個のまとめすらやらない学校も、やはり現実あるんですね。学校訪問も前期の半分が終わったんですけども、半分ぐらいの学校がなかなか個のまとめをやっていないんですね。そこまでたどりつかない。時間がないからやらないとか言うのですが、個のまとめは何のためにやるのかっていうことが、きちんと価値付けがされていれば必ずやると思うんです。先ほど溝口委員がおっしゃったとおりで、個のまとめの旨みというか、必要性といったところを、まだまだ落とし込めてないというところが、学校教育課として反省しています。ここは、もう一歩手を打っていきたいと思っていますところです。

●大谷委員

思考ツールは、今どうなっていますか。

●教育長

使っています。タブレットに入っているの、それを使っています。先生が子供たちに課題を与えて、自分だったらどのように整理しますかと問いかけたりと使っています。学校でも使っている姿をよく見ます。

●大谷委員

その成果がなかなか。

●教育長

その過程もあるのでしょうけど。

●学校教育課長

思考ツールも結局ツールの一つで、手立てなので、思考ツールを使うことが目的になってしまっている授業もまだまだたまにあるのですが、以前と比べるとずいぶん減ってきたかと思えます。子供たちも自分の考えを整理したり、広げたりする一つの良い道具だなどいうことで、やれるようにはなっています。ただ、やはりこれも差があります。教員の捉え方の差もありますし、子供たちの活用能力の差もあるので、そこはあくまでこれはツールだということで、上手にそれを使いながら思考を深めていけるといいなと思っています。

●大谷委員

変な話ですけど、朝令暮改みたいになってはいけないなど、ずっと使い続けていただけるのであれば、継続的な中で成果は出てくるかと思えます。

●教育長

それは使い続けると思えます。はい、ありがとうございます。この結果については、週明けに国から公表され、県の発表もあるかと思えますけれども、市については9月下旬ぐらいにホームページにて公表という予定になっていますので、ご承知おきください。

## ●おいしい給食課長

資料に基づき説明

## ●教育長

もとは給食センターの老朽化がありまして、浅羽と袋井の給食センターがかなり老朽化してしまっていて、この間も袋井で機械が突然壊れて、レトルトのカレーで賄うという経験があります。機械を急遽直して、すぐに直ったので、次の日から給食になったんですが、30年以上経過しているのも、特にやはり調理器具等は非常に老朽化しています。それから衛生管理基準ができる前の施設なので、中部と比較するとよく分かりますが、中部は密閉式の空調で、完全空調の施設ですが、浅羽と袋井は窓全開で、夏であればとても暑い給食センターになってるので、室温も4確か40度を超えてはいけないうのが40度を超えてしまうような日もあったりするんで、非常に衛生管理基準上も好ましくないというのがあるということ、もとは浅羽と袋井の給食センターをどうしようかという議論から始まりましたけれども、それだけでいいのかという話になり、やはりソフトが整わないと日本一になっていけないのではないかという話になり、この学校給食のアクションプランを作ることになりました。ちょうど中部の給食センターが出来て10年を迎えるため、次のステップに向けてどんなことをやっていこうかということで、こういうアクションプランを作ったんですが、おそらく推測ですけども、自治体で給食に特化したプランを作っているところって、そうそうないなというふうに思っています。それだけでも自慢といいます、自負を持って学校給食に取り組んでいる、ということになろうかと思っています。先ほど、浅羽の給食センターを下処理加工専門センターにするというのは、実はどこかを改修すると、改修期間中に、給食が提供できなくなってしまうの、では、給食センターの稼働、給食を止めないでできるかという、8,000食になったら2センターで賄えるので、1箇所改修して、そのあとにもう一回、今度はこちらを改修すればという流れで、このプランであれば給食を止めないで可能になるのではないかと思います。もう一つは、あの下処理加工センターやることによって、今は、委託業者に朝6時頃から出勤してやってもらっていますが、人が全然集まらない状況です。やはりそのような過酷な労働条件で人が来てくれないということもあり、下処理加工も前の日にやっていけばいいじゃないかということで、前の日であれば、普通の時間帯で雇用ができるのですけれども、ネックは多分給食というものは当日納品、当日調理というのが大原則なので、ここをどうやってクリアしていくかっていうところなんです。文科省と協議して、衛生管理基準さえ徹底されればいいのではないかということになろうかと思っておりますけれども、まだまだハードルは少しあります。改修するにしても21億ぐらい掛かるということなので、それなりの財政出動も必要ですが、今このようなプランを立てています。議会の委員会にも出して言っていますので、これから外にも出していくというプランになりますけれども、そんな状況であるにご理解ください。何かご質問と思いますが、それでは、あの今年度は基本計画的なものを作っていくと思っておりますので、また適宜報告させていただきます。

[質疑・意見(要旨)]

なし

#### 報第94号 学校給食費の収納状況について

##### ●おいしい給食課長

資料に基づき説明

##### ●教育長

給食については、生活保護世帯とか、それに準ずる世帯は公費で賄なっていますので、真に経済的に苦しい方については当然未納ということになりません。公費でみていますけど、それよりも家計状況が上の方々で未納が発生しているというご理解をしていただければと思います。

[質疑・意見（要旨）]

なし

#### 報第95号 令和4年度保育料の収納状況について

##### ●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

#### 報第96号 第2期袋井市子ども子育て支援事業計画主要事業の実績報告について

##### ●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

#### 報第97号 寄附品・寄附金の受納について

##### ●子ども未来課長、袋井図書館長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

なし

## 報第99号 令和5年度 放課後児童クラブ利用待機児童数について

### ●子ども未来課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

### ●鈴木委員

高南小学校の運営協議会に出ているのですが、高南小は定員が133名とういことで、2箇所ですが、一つのところで、かなり大変な数がいるということですが、施設を増やすなどの計画はありますか。

### ●子ども未来課長

ご意見ありがとうございます。現在、計画はありません。現状申し上げますと、高南小の入口の左側、校舎の東側にクラブハウス2つがあります。これ以外に、学校から図工室を借りることができまして、そちらにエアコン等をつけ、40人程度入れるようにしています。高南クラブ委託先側では、2箇所に分けて子供を保育するので、補助員がもう少し必要と考えており、本課としましても、補助員の数が少ないということで、混み合った状況にあることを承知しています。もしこれ以上増えた場合については、学校から特別教室をお借りして対応していきたいと思っています。大変込み合っている状況を解消するため、できるだけ分散保育できるようにしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

### ●鈴木委員

多分、放課後児童クラブにいる子どもたちの表れは、学校にいる時と違うと思うので、ワーワーワーと声も出るし、いろんな面で指導員の方が大変だと思うのですが、指導員の対応についても、どうかという話も保護者からも聞いたことあるものですから、ぜひ確保とともに研修等も含めて、いろんな面で十分承知したうえで、指導していただけたらと思います。

### ●子ども未来課長

しっかりと把握して、指導いたします。ご意見ありがとうございます。

## 報第100号 教員の精神疾患療養について

### ●学校教育課長

資料に基づき説明

[質疑・意見（要旨）]

●鈴木委員

30日以上長期には至らないが、やはり不安を抱えている方増えているのではないかと思うのですが、どうですか。

●学校教育課長

います。たとえば、1週間とか、ちょっと気持ちが下がったので休む職員は、このほかにも確かにいます。

●鈴木委員

若い方ですか。

●学校教育課長

若い方というよりも結構ベテランにいるかと思います。初めてではなくて、過去にも休んだことがある人が多いと思います。

●教育長

それぞれの事情とか精神的なものなので、なかなか難しい部分があるにしても、ある意味学校教育の現場って、要は欠員状態みたいな状況でして、人が足りないってところにもってきて、やはりかなり忙しくなってしまうっていうことで、抱えてしまっている部分もあるかと思いつつも、いかにこういう長期に休まれる方を防いでいくことだし、それから休んだとしても、円滑にいつか復帰していただくという手立てをとっていかねばならないと思っています。なかなか、まだまだそこは充分できているかどうかというところも私も考えなければなりません。記事での話ですが、山形県は多分初認1年目には担任を持たせない、そんな方針を出している教育委員会があって、それをやるにはかなり採用増やしたくないとできないので、市教委ではなくて県教委の仕事になってしまう部分もありますけども、そのようにしていかないと、なかなかこういう負担、ストレスが掛かっている状況を改善できない部分もあるかと思っています。把握していただいて、定期的に報告してもらえればと思います。

7 その他

(1) 連絡事項

ア 国の教育振興基本計画（概要）

イ 初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン

ウ 「令和の日本型学校教育」を推進する地方教育行政の充実に向けて（概要版）

(2) 次回定例会等の予定について

8月教育委員会定例会

8月25日（金）午後1時30分～ 子育てセンター にじいろ

(3) その他

8 閉 会

（午後3時15分閉会）